

大池小学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間

平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標

豊かな心もち、たくましく生きる子どもを育てます。

進んで学びます。仲良くします。元気に生きます。

学校経営方針

学校教育目標を実現するため、学校組織を活用して、保護者、地域の信頼に応えうる学校をめざします。

- ・ 「市民力」「創造力」の身に付いた子どもを育てるための教育課程を編成します。
- ・ 家庭や地域と連携・協力し、未来の横浜を創っていく子どもを育てる学校づくりを進めます。
- ・ 健康安全、学習効果のための環境作りに努めます。
- ・ 教師の指導力の向上と指導組織の改善・充実に努めます。

指導の重点

- ・ 基礎・基本の定着を図るため、各教科の学習指導の充実に努めます。
- ・ 体験的な活動や問題解決的な学習ができるよう授業展開の工夫に努めます。
- ・ 児童の生活実態に即した思考力、判断力、行動力の向上に努めます。
- ・ 総合的な学習の時間の充実に努め、教科との関連を図った「総合的な学習」を行います。

改善の視点

取組目標

1 子どもの学力に関する議論がある中で、教科などの指導の充実に努めていく必要があります。

- 算数の基本計算能力の到達目標を定め授業の中で、指導していきます。国語の基礎力の充実に努めます。漢字力と音読能力の達成目標を定め、授業の中や朝自習の中で繰り返し指導する時間を確保します。
- ・ 教員の授業力を高めるために、全教員が、研究授業と事前模擬授業を行い内外の講師から指導を受け研鑽を積みみます。
 - ・ 基本計算記録や音読力、漢字の力をファイルにまとめて学習相談に活用します。

2 現代社会の中で、規範意識や公共心などの欠如が問題となっており、自律心も含めた豊かな心を育む取組が必要となっています。

- 学級活動の見直しを図り、学校における基本的な生活習慣を重視し、集団での関わりの楽しさや認め合う喜びのある活動を充実させていきます。そのために総合的な学習の時間の見直しや中休み30分間の実施により子どもの主体性や集団活動のよさ、得意なこと、頑張っていること、挑戦したいことなどが発揮でき、子どもの日々の楽しみや育ち合いのある場や時間の設定をさらに充実させます。道徳の授業公開を1～6年の各クラスが1年に1回以上実施します。
- ・ 全教職員の共通理解による望ましい集団活動や集団生活を目指した指導を推進します。挨拶、言葉遣い、姿勢、態度などの文化的社会生活の基本ルールや社会規範を遵守しようとする心を培います。異学年交流活動を年間を通じて行い、クリーンタイム(環境・美化活動)縦割り全校遠足、仲良し給食、集会活動を行っています。赤ちゃん教室、昔遊びの会、英語活動、総合作品展、自主事業餅つき大会、出前教室などPTA、地域及び関係諸機関との方々と連携し、取り組んでいます。共通で行う指導のために毎月の職員会議でクラスの実態情報交換会を行っています。

<p>3 市全体として子どもの体力向上が課題となっています。生活実態調査を生かし、心身の健康・体力づくりに取り組んでいきます。</p>	<p>全学年が市の新体力テストを導入しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中休みを30分確保して運動場での遊びを充実させ、子どもたちの体力向上を目指しています。 ・ 地域の縄跳び大会に参加するために縄跳びの練習の奨励を行っています。集会活動でも、各学年が中休みを使って縄跳び大会を行っています。 ・ 地域のクロスカントリー大会参加に向け、希望者による早朝練習も行っています。(毎年100人前後が参加しています。) ・ 毎年生活実態調査を生かして心身の健康・体力づくりをしていきます。
<p>4 子どもの安全を脅かす事件が後をたちません。安全・安心な学校づくりが必要となっています。</p>	<p>保護者・地域と連携して登下校の見守り活動をさらに充実していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の見守り隊の協力をいただき、登下校には地域の人々の目があることを児童や地域にも意識させます。 ・ PTAの校外指導委員会による登校指導を行っています。 ・ 教職員による毎朝の登校指導も行っています。 ・ 児童やPTAによる地域安全点検活動を行っています。 ・ 子どもの危険回避能力を高めるために、避難訓練、防犯訓練、CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の講座教室などを実施しています。 ・ 正門・裏門の施錠を徹底しています。 ・ 緊急時の連絡方法の確認を随時行っています。 ・ 輪番で毎朝、児童の登校指導を行っています。
<p>人材育成の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増加が予想される新任教諭、若手教職員の育成を図るため、教育委員会主催の研修を活用するとともに校内研修を充実していきます。 ・ 若手職員層の育成指導と活力を学校全体の活性化につなげていくため先輩教諭の指導力を重点指導研究会等に生かし、学校組織としての指導向上に努めます。 ・ 校長、副校長が先頭に立って、ベテラン職員層の活力を図る取り組みを進めるとともに、指導者としての自覚を高めます。 ・ 複雑化する児童指導に対応するため、児童指導担当教諭の計画的な育成を進めていきます。 ・ 職員会議でクラスや学年などの情報交換を行い対応や取り組みを公開し、対応能力指導力を高めていきます。 ・ 指導者層教員の若手育成の自覚を高めるため学年研究会や重点研究会の充実を図ります。 ・ 全校的行事や授業参観・懇談会の充実を図るために教職員同士・保護者・地域の方々の情報交換を密にして指導力を高めていきます。

<p>平成18年度の 重点 取組項目</p>	<p>児童が「できる」「わかる」「たのしい」と思える授業づくりをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度は、校内重点研究で、国語の基礎力の育成を目指して実践的な研究を行っています。 ・ 朝自習では、漢字書き取り、読書の時間を実施しています。音読練習を重視して授業の中で取り入れています。その成果を全校児童が集う音読発表会で発表しています。 ・ 算数の基礎計算力を充実させるために毎時間計算練習を実施して、年2回その成果を記録して次年度に活かしています。 ・ 夏休みの水泳教室の充実を行っています。6年卒業までに25メートル泳げるように取り組んでいます。毎年記録を保存し指導の充実に努めています。 ・ 読書活動の奨励のため夏休みの全期間、本の貸し出しを行っています。学習相談日も全期間行っています。 ・ 卒業式を全校参加で実施しています。全校で卒業生を祝い送り出しています。1年生から厳粛な式に参加して、儀式的行事の意義を感じています。
<p>これまでの取組結果</p>	<p>(平成19年度から記載します。)</p>
<p>教育懇話会やPTA のアンケート意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の挨拶が、しっかり出来るようになってきている。 ・ 学校のホームページの充実をしてもらいたい。 ・ 学校だよりは写真も多く掲載されていて、学校の情報が确实発信されていてわかりやすい。